



**2026年3月期  
決算短信補足資料**

2026年5月15日

**寺崎電気産業株式会社**  
(証券コード：6637)

# 連結決算概要

- ✓ 船舶用システム製品 及び 産業用システム製品が好調に推移したことにより、営業利益ベースでは過去最高を更新
- ✓ 前年の税金費用減少の影響等により、当期純利益は減益での着地

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率	為替影響額
売上高	56,404	<b>62,858</b>	+6,453	+11.4%	+217
営業利益	5,618	<b>6,197</b>	+578	+10.3%	▲365
経常利益	6,052	<b>6,515</b>	+462	+7.6%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,451	<b>4,188</b>	▲262	▲5.9%	
EPS 1株当たり当期純利益	341円67銭	<b>327円01銭</b>			
1株当たり配当金	40.00円	<b>53.00円</b>			
営業利益率	10.0%	<b>9.9%</b>			
ROE 自己資本利益率	9.1%	<b>7.8%</b>			

<<2026年3月期  
 1株当たり配当金の内訳>>  
 中間配当 20円  
 期末配当 33円 … 当初予想に対し10円の増配  
 合計 53円

<<期中平均レート>>

1US\$	152.61円	<b>150.67円</b>
1EURO	163.87円	<b>174.64円</b>
1ST£	194.72円	<b>201.97円</b>
1RMB	21.11円	<b>21.22円</b>



1

# セグメント別概要 日本

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	26,084 (50.1%)	26,928 (47.8%)	<b>28,534 (45.4%)</b>	+6.0%
セグメント利益	3,929	3,791	<b>4,329</b>	+14.2%

<<売上高 前年同期との差異ポイント>>

船舶用システム製品	増加	LNG運搬船向けが好調に推移したことに加え、 陸電供給システム、ばら積み船、コンテナ船向け等が大幅に増加
産業用システム製品	増加	国内グリーンエネルギー関連の発電プラント及びコージェネレーションシステム等の 分散型エネルギー関連向けが大幅に増加
メディカルデバイス	減少	医療機器の設備投資が低調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	減少	国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が減少
機器製品	ほぼ 横ばい	国内設備投資が底堅く推移



2

# セグメント別概要 アジア

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	17,925 (34.4%)	22,186 (39.3%)	<b>27,210</b> <b>(43.3%)</b>	+22.6%
セグメント利益	1,300	2,015	<b>2,454</b>	+21.8%

## 《売上高 前年同期との差異ポイント》

船舶用システム製品	増加	L N G運搬船をはじめ、いずれの船種向けも好調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	減少	船舶向けの換装工事が減少
機器製品	増加	中国船用市場向け及びマレーシア国内向けで堅調に推移

# セグメント別概要 ヨーロッパ

(単位：百万円)

	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率
売上高 (売上高比率)	8,055 (15.5%)	7,290 (12.9%)	<b>7,113</b> <b>(11.3%)</b>	▲2.4%
セグメント利益	888	842	<b>670</b>	▲20.4%

## 《売上高 前年同期との差異ポイント》

機器製品	減少	英国内及び中東向けにおいて低調に推移
エンジニアリング及び ライフサイクルサービス	増加	船舶向けブレーカの更新工事が増加

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減
資産の部			
流動資産	51,199	55,077	+3,877
固定資産	22,696	26,350	+3,653
<b>資産合計</b>	<b>73,896</b>	<b>81,427</b>	<b>+7,531</b>
負債の部			
流動負債	16,608	18,440	+1,832
固定負債	5,855	7,535	+1,679
負債合計	22,463	25,975	+3,512
純資産の部			
株主資本	44,048	44,085	+37
その他の包括利益累計額	7,384	11,365	+3,981
純資産合計	51,432	55,451	+4,019
<b>負債・純資産合計</b>	<b>73,896</b>	<b>81,427</b>	<b>+7,531</b>

## 主な増減

### <流動資産>

現金及び預金	▲3,685
受取手形、売掛金及び契約資産	+3,641
棚卸資産	+3,866

### <固定資産>

有形固定資産	+1,343
退職給付に係る資産	+1,112

### <流動負債>

支払手形及び買掛金	+1,292
電子記録債務	▲956
未払費用	+670

### <固定負債>

長期借入金	+739
繰延税金負債	+712

### <株主資本>

利益剰余金	+3,537
自己株式	▲3,499

### <その他の包括利益累計額>

為替換算調整勘定	+2,895
----------	--------

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,327	1,170	▲7,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,193	▲2,890	+302
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲743	▲2,977	▲2,233
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>17,614</b>	<b>13,929</b>	<b>▲3,685</b>

## 主な収支

### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

税金等調整前当期純利益	6,523
売上債権の増加による支出	▲2,507
棚卸資産の増加による支出	▲2,869
法人税等の支払による支出	▲1,800

### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

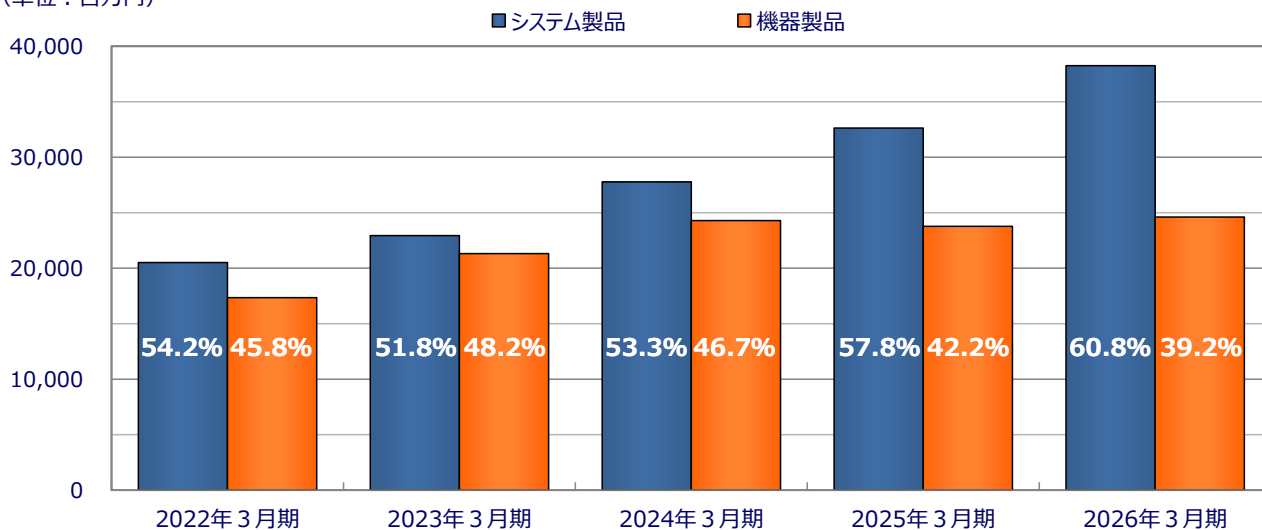
有形固定資産の取得による支出	▲2,678
その他の支出	▲240

### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

配当の支払による支出	▲651
自己株式の取得による支出	▲3,499

# 製品別 連結売上高比率

(単位：百万円)

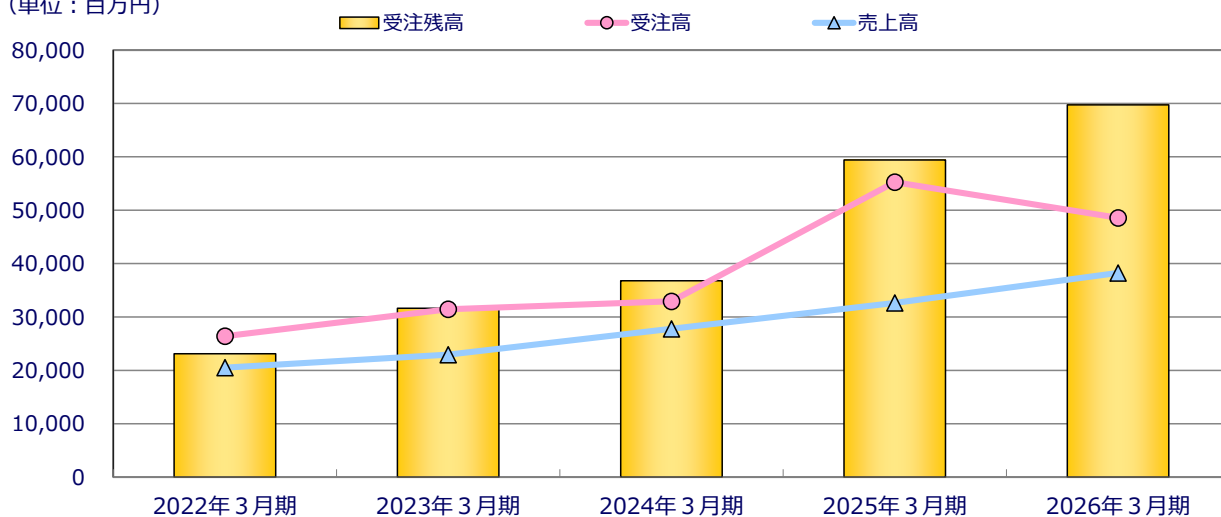


(単位：百万円)

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期	前年同期比 増減率
システム製品	20,506	22,935	27,776	32,626	<b>38,247</b>	+17.2%
機器製品	17,349	21,317	24,288	23,778	<b>24,611</b>	+3.5%

# システム製品 連結売上高・受注高・受注残高

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
受注残高	23,113	31,629	36,778	59,416	<b>69,742</b>
受注高	26,401	31,451	32,925	55,264	<b>48,573</b>
売上高	20,506	22,935	27,776	32,626	<b>38,247</b>

# 2027年3月期 連結業績予想 及び 配当予想

- ✓ 高水準の手持ち工事量を抱える造船業界や国内における底堅い設備投資を背景に、売上は増収の予測
- ✓ 価格適正化への取り組みを進めるものの、原材料高騰・人件費増による影響により、利益面では減益の見通し

(単位：百万円)

	2026年3月期	2027年3月期 予想	増減額	増減率
売上高	62,858	69,520	+6,661	+10.6%
営業利益	6,197	5,730	▲467	▲7.5%
経常利益	6,515	5,830	▲685	▲10.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,188	3,760	▲428	▲10.2%
E P S 1株当たり当期純利益	327円01銭	306円57銭		
1株当たり配当金	53.00円	56.00円		
営業利益率	9.9%	8.2%		

≪2027年3月期  
1株当たり配当金の内訳≫

中間配当(予想) 28円  
 期末配当(予想) 28円  
 合計 56円

≪期中平均レート≫

1US\$	150.67円	151.00円
1EURO	174.64円	176.00円
1ST £	201.97円	199.00円
1RMB	21.22円	21.70円

≪為替感応度≫ US\$ 1円変動時\*の影響額

売上高	営業利益
約2億円	約1億円

\*その他の外貨がUS\$と連動して変化することを前提とする

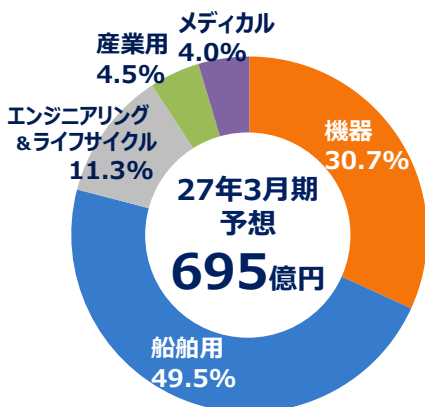


9

※本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報および合理的な前提に基づき作成していますが、中東地域を中心とした地政学リスク拡大に伴う原油価格の変動、原材料価格の上昇や供給制約等の不確実要因については、その影響額を合理的に算定することが困難であるため織り込んでいません。今後の動向を継続的に注視し、これらが業績に重要な影響を及ぼすと判断した場合には、速やかに開示します。

## 製品別連結売上高推移 及び 予想

(単位：億円)



※5つの製品に分類した場合の、管理会計上の参考値となります。また、表示単位未満の端数は切り捨ててしております。

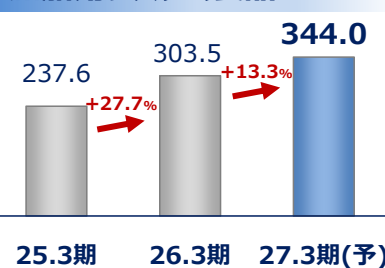
### 機器製品



- 低圧遮断器
- 気中遮断器
- マルチケーブルトランジスト (ケーブル貫通部総合防災品)



### 船舶用システム製品



- 船舶用配電制御システム
- 監視制御システム
- 陸電供給システム
- 船員教育訓練システム



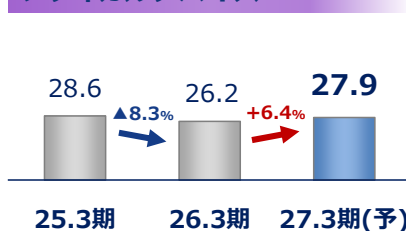
### 産業用システム製品



- 配電制御システム
- コージェネレーション向け制御システム



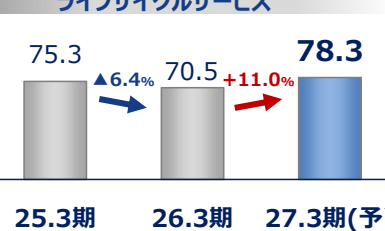
### メディカルデバイス



- 医療機器
- 臨床検査機器



### エンジニアリング及びライフサイクルサービス



- 製品保守・メンテナンスサービス
- 機械設備の設計・構築等のエンジニアリングサービス
- レトロフィットとライフサイクルサービス
- 船員トレーニング・サービス



10

※本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報および合理的な前提に基づき作成していますが、中東地域を中心とした地政学リスク拡大に伴う原油価格の変動、原材料価格の上昇や供給制約等の不確実要因については、その影響額を合理的に算定することが困難であるため織り込んでいません。今後の動向を継続的に注視し、これらが業績に重要な影響を及ぼすと判断した場合には、速やかに開示します。



— 配電制御の革新を続ける —

#### **本資料お取扱い上のご注意**

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。